

# 令和5年度 小平市立鈴木小学校 学校評価計画表

**学校教育目標** よく考え やさしく 元気な 鈴木の子 (○よく考える子…基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、根拠を明確に自分の考えをもち、判断し、行動できる子ども  
○やさしい子…自他の生命を尊重し、自分も友達も大切にできる子ども ○元気な子…自己有用感を高め、心身ともに健康で粘り強くやり抜く子ども)

**目指す学校像(ビジョン)**  
 【目指す学校像】 笑顔あふれる学校 共に成長する学校 郷土を愛する学校  
 【目指す児童・生徒像】 様々な人の思いや考えを大切にし、相手の気持ちを考えて行動する思いやりとやる気をもち、粘り強くチャレンジし成就感や達成感でいっぱいにする児童  
 【目指す教師像】 自己の使命と責任を自覚して学校を開き、教師同士が学び合い、協力し合って職務に励み、子どもと共に成長する教師

**前年度までの学校経営上の成果と課題**  
 成果:小中連携三中校区として学習者用端末を用いながら公開授業を行い、異校種での情報交換を実施した。特別支援学級拠点校として全学級での理解授業と学期ごと校内評価を実施し児童理解を深めた。学習者用端末持ち帰りを進めたり、学習者用端末使用時のスキルの基礎を構築した。課題:ICT機器導入や行事の感染対策等で教員の在校時間が増えている。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	学習規律を身に付け、知識・技能の確実な定着を図る。  ○主体的・対話的で深い学びの確立をする。	基礎・基本の定着を図る。  学習に対する「やる気」「チャレンジする」を引き出す授業づくりを推進する。	・年間を通して鈴木タイム、ベーシックタイムを実施し、個に応じて自己の力を提示し、弱点を指導する。 ・家庭学習10分×学年の定着を図る。  ・小平市教育委員会研究推進校として校内研究を軸に問題解決型の授業を推進するために、全学級「算数」の授業公開を実践する。	4 全学年・学級で実施100%	4 単元終了時テストの平均正答率通過が児童の90%以上
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 単元終了時テストの平均正答率通過が児童の80%以上
				2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 単元終了時テストの平均正答率通過が児童の70%以上
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 単元終了時テストの平均正答率通過が児童の70%未満
健全育成	「いじり・いじわる・いやがらせ」せ」の3原則でいじめをなくす。根絶する。  人権教育の推進をする。	・「学校いじめ基本方針」を基にいじめを許さない体制といじめ未然防止に取り組む。 ・人との関わりを重点とした道德教育の充実を図る。  ・日常的な人権教育の充実を図る。 ・互いの良さを認め、協力し合う心の醸成する。	・いじめに関する授業を年3回全学級で実施するとともに思いやり、信頼や相互理解の意識を高める学習を実施する。  ・「自らすすんで、目を見てあいさつ」を推進する。年間あいさつ運動を学年発案で実施し、あいさつの習慣化を図る。	4 全学年・学級で実施100%	4 保護者・地域アンケートで 肯定的回答90%以上
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 保護者・地域アンケートで 肯定的回答80%以上
				2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートで 肯定的回答70%以上
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 保護者・地域アンケートで 肯定的回答70%未満
体力向上	運動習慣定着と運動への興味関心の向上を図る。	・運動の日常化を図る。  ・休み時間の外遊びを推奨する。 ・なわとびやマラソン旬間を通して継続的に体力向上を推進する。 ・体育集会等で児童発案の多様な運動にふれ、運動する良さを味わわせる。	4 全学年・学級で実施100%	4 全学年・学級で実施100%	4 児童アンケートで 肯定的回答90%以上
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 児童アンケートで 肯定的回答80%以上
				2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 児童アンケートで 肯定的回答70%以上
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 児童アンケートで 肯定的回答70%未満
自立の促進	安全教育の充実を図る。  特別活動の充実を図る。	自ら考え、命を守る能力の育成を図る。  ・集団行動を通じて課題解決力を身に付ける。	・年間計画に基づいた安全指導を防災ノート等を活用し、毎月1回全学級で実施する。 ・「安全教育プログラム」「SNS東京ノート」「鈴木小のきまり」で理解定着を図る。  ・たてわり班活動や学年学級で発案実行し互いのよさを認め合う活動を実践する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%~100%未満	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%~80%未満	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の取組評価で、肯定的回答60%未満
郷土成愛の醸成	地域人材や関係機関との連携強化を図る。	・地域人材や素材を活用した指導計画を保護者・学校支援コーディネーター・ゲストティーチャー等の地域と連携した教育活動を実施する。	・地域人材や関係機関との連携した学習を全学年で実施する。	4 3回以上実施	4 児童アンケートで 肯定的回答90%以上
				3 2回実施	3 児童アンケートで 肯定的回答80%以上
				2 1回実施	2 児童アンケートで 肯定的回答70%以上
				1 実施せず	1 児童アンケートで 肯定的回答70%未満
教育特色活動	地域と協働して教育活動の充実を図る。	・令和5年度東京都型学校運営委員会の設置へ向けての立ち上げ準備をする。	都型学校運営委員会を年間6回実施し、共通する内容から分科会に分かれ、具体的な取組を検討する。	4 6回以上実施	4 保護者・地域アンケートで肯定的回答が80%以上
				3 5回実施	3 保護者・地域アンケートで肯定的回答が70%以上
				2 4回以下実施	2 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%以上
				1 実施せず	1 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%未満
業務改善	勤務時間と健康管理を意識した働き方を推進する。	・勤務時間内に効率よく業務を進める意識改革を推進する。	・学習者用端末やC4thを活用し、会議時間の短縮、各種印刷物の電子化、校務負担軽減、ペーパーレスをし校務の精選を推進する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%~100%未満	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%~100%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%~80%未満	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%~80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満